

平成21年度第2回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

1 日 時 平成22年2月9日（火）午後1時30分～午後3時30分

2 会 場 苫小牧市女性センター4階 講習室A

3 出席者 苫小牧市男女平等参画審議会委員7名出席（欠席者3名）

事務局 市民生活部長、男女平等参画課長、主査、嘱託員

4 議事概要

(1) 平成20年度「苫小牧市男女平等参画基本計画第2次」施策別実施状況について

資料に基づき、事務局から説明

(2) DVD鑑賞

配偶者からの暴力の根絶をめざして～配偶者暴力防止法のしくみ～

（企画：内閣府男女共同参画局）

質疑

「男女平等参画宣言」について

○いつまでという予定はあるか。

《平成11年に陳情が出され議会で採択されている。その後、平成13年に今の2次計画の前の計画（プラン21）を作り、さらに18年に条例を制定した。今、この時期に宣言をして、この運動を盛り立てようという考えもあり、どういう位置付けかということも含めもう少し検討したいということで、今回の計画に載せている。文言を決めて宣言すればいいということではなく、これを契機に盛り上げにつながるかどうか、今の時代にあった宣言を検討したい。》

○宣言を早くやって御旗を掲げることで、民間にもついていく道ができる。

○ぜひ、早期に実現されることを要望する。

「学校教育の推進（いじめやセクシュアル・ハラスメントの根絶）」について

○「いじめ問題等対策協議会の開催」が年2回開かれたということだが、具体的にいじめ問題を取り扱って学校に働きかけたり、積極的ないじめ対策を行うことはあるのかをお聞きしたい。

《内容については、教育委員会指導室に確認する。》

「審議会の女性の割合」について

○24年度まで女性委員を30パーセントという目標は、現実的に達成できるのか。

○女性委員がゼロというところがあるので、ここで一人二人と登用されていくと、変わると思う。

○まず、所管部署の意識改革、女性委員を入れる努力をしていただきたい。

《今後も審議회를所管する課に働きかけていきたい。》

などの質疑がありました。

意見

○男女平等は、最後は人権にたどり着くものだ。自分の娘が、学校で生徒会長やサークルの長は男でなくてはならないと先生に言われ泣いて帰ってきたことがあり、学校教育に疑問を持っている。また、今の学生は就職という賃金について手取りのことしか考えていない人がいる。福利厚生やボーナスなど労働は義務だけでなく、権利もあるということを中学生くらいから教えてほしい。

- 命の大切さを小学校の段階で学ぶことができたなら、自分自身が大切な存在だと気づいてもらえればいじめやDVの問題にしても、世の中もよくなるのでは。自分が大きくなるためには、どれだけの人の協力があって育ってきたのか親子で確認するような命を大切に教育をしてほしい。
- 学校では命についての授業をやっている。人権擁護委員でもやっており、連携を多くしていけたらいいと思う。
- 最近では、高校生の中でデートDVというのがあって問題になっている。小さいときの教育の部分にも取り入れていく必要がある。
- 最近では、DV被害の方が保護命令をとるのにためらいはなくなっている。サポートの指導が行き届いていることもあるし、浸透してきてるともいえる。
- DVの制度については、改善されてきているが、根っこについてはあまり解消されていないという実感がある。
- 市職員の採用状況を見ると、社会人枠や新採用の女性割合が増えている。こういうところから進めていくと少しずつ変わっていくと思う。
- DVDを見て、勉強になりました。これを参考にして、話題になったときに相談先などを知らせてあげることも問題解消のひとつになると思う。

などのご意見をいただきました。

(3) その他

- ・平成20年度実施状況については、ホームページに掲載し、また市内の公共施設で閲覧できるようにする。
- ・平成21年度の実施状況については、22年度の早い時期に公表できるよう準備を進める。

ことが、事務局から説明されました。